

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	近畿大学医学部・近畿大学病院新築工事	階数	地上10F、地下1F
建設地	大阪府堺市南区三原台一丁3番9、3番11及び3番13、二丁2番11	構造	SRC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	800人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校、病院、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2022年8月26日
敷地面積	78,748 m ²	作成者	早坂 涼
建築面積	24,171 m ²	確認日	2022年8月26日
延床面積	126,660 m ²	確認者	藤田 純一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪府堺市に建設される病院と学校(大学)の複合用途建築物の計画である。室内環境、サービス性能、省エネの推進、資源の有効利用のための方策を積極的に採用している。	
その他		
Q1 室内環境	全館禁煙とし、空気質環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用や材料使用量の削減により資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	近畿大学医学部・近畿大学病院新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区三原台一丁3番9、3番11及び3番13、二丁2番11	1.5	A
	主用途/延床面積	病院 / 126,659.92 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
エネルギー削減	2	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.2	3	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値		3.0
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.1	2	
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	4	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		4.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		5.0
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	4.0	○	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	